

平成30年度 研究・調査企画会議 事後評価部会（第1回）
議事概要

1 日時：平成30年7月30日（月）10：00～16：00

2 場所：食品安全委員会中会議室

3 出席者（8名）五十音順

圓藤 陽子（圓藤労働衛生コンサルタント事務所所長）

◎岡部 信彦（川崎市健康安全研究所所長）

鬼武 一夫（日本生活協同組合連合会品質保証本部総合品質保証担当）

眞鍋 昇（大阪国際大学教授（学長補佐））

丸井 英二（人間総合科学大学教授）

宮崎 茂（一般財団法人生物科学安全研究所参与）

望月 眞弓（慶應義塾大学薬学部教授・慶應義塾大学病院薬剤部長）

四方田千佳子（神戸薬科大学特任教授）

（◎：座長）

その他、食品安全委員会から佐藤委員長ほか4名が、事務局から川島事務局長ほか9名が出席

4 議事概要

（1）平成29年度終了研究課題の事後評価（ヒアリング審査）

○平成29年度で終了した以下①から⑧の研究課題の成果について事後評価を行うため、各課題の主任研究者に対しヒアリング審査を実施した。

○各課題の評価所見(案)を、事務局が整理した上で、次回の事後評価部会で審議することとなった。

<事後評価対象課題>

①1503：食事由来アクリルアミドばく露量推定方法の開発と妥当性の検討および大規模コホート研究に基づく発がんリスクとの関連に関する研究（大阪大学：祖父江 友孝）

②1601：経管栄養食品等に含まれるセレン化合物の化学形態に着目したリスク評価及びバイオアベイラビリティに関する研究（千葉大学：小椋康光）

③1602：インビボ毒性試験成績のデータベース化とそのインシリコ解析・評価への応用に関する研究（静岡県立大学：吉成浩一）

④1603：食品用ペットボトルから溶出する化学物質の摂取量の推定に関する研究（地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所：尾崎麻子）

⑤1604：有機ヒ素化合物による発がんメカニズムの解明（大阪市立大学：鰐淵

英機)

- ⑥1605 : 血漿マイクロ RNA の発現変動を指標とした化学物質の新規毒性評価系の構築・評価研究 (名古屋大学 : 横井 毅)
- ⑦1606 : 食肉由来腸球菌の抗菌性飼料添加物に対する耐性と多剤耐性伝達性プラスミドとの関係についての調査・研究 (群馬大学 : 富田治芳)
- ⑧1701 : アレルギー物質を含む食品についてのリスク評価方法の確立に関する研究 (国立研究開発法人国立成育医療研究センター : 斎藤博久)

(2) その他

- 事務局から、今後の事後評価部会の開催スケジュールについて説明があった。

— 以上 —

(注 : 本部会は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。)